

施策 5 1 2

地域や多様なコミュニティを
育む場や機会を増やす

令和7年度 施策評価シート

基本目標	V 区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政 策	510 コミュニティの輪を広げ、協働によるまちをつくる
施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす
施策の目標	地域や多様なコミュニティの活動の拠点が、地域住民の協力のもとに管理されるなど、コミュニティを育む協働の場や機会が充実し、区民の交流が盛んになっています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	75
実績	71.5	—	—	—	56.4
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	80
実績	—	—	—	—	

指標名	コミュニティ施設の利用者数（人）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	415,000
実績	452,048	—	—	—	235,398
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	420,000
実績	249,018	367,834	381,433	416,207	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
・地域や多様なコミュニティの活動が活発に展開されるためには、活動を支える場づくりが欠かせないことから、誰もが利用しやすい施設を目指すとともに、子どもから高齢者まで多様な活動団体が交流できる仕組みを構築し、地域コミュニティ活動の活性化に資するよう、時代に合った形でコミュニティ施設を運営していく必要がある。 ・「すみだまつり・こどもまつり」及び「はたちのつどい」は、実行委員会方式を採用し、地域力の振興に寄与している。	R4	883, 590
	R5	898, 530
	R6	1, 066, 926

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	施設利用者数はコロナ禍以降回復傾向で、引き続き多くの方に利用してもらうよう施設運営を行うとともに、管理運営の効率化を図る。その他各事務事業は、代替性は低いため必要性はあるが、より効果的な運営を図る必要がある。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
○	(1) 優先的に資源投入を図る
●	(2) 現状維持とする
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
・施設運営は、既存施設を最大限活用し、ニーズを踏まえて効率的・効果的に運営する必要がある。 ・「すみだまつり・こどもまつり」については来場者の増、満足度の高いコンテンツづくりの必要がある。「はたちのつどい」については、実行委員数増加に向けてPRに努める。	
今後の具体的な方針	
・施設の利便性向上により利用者増を目指し、協働のネットワークを広げる「場」づくりを進める。 ・「すみだまつり・こどもまつり」は来場者の満足度を上げるとともに、収入増を図り、効果的な運営を図る。「はたちのつどい」は実行委員の募集方法を改善し、さらなる次世代を担う人材確保を図る。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	コミュニティ会館管理運営 委託	地域活動推進課	692,824	10,985	703,809	現状維持
2	八広地域プラザ管理運営	地域活動推進課	83,520	3,662	87,182	現状維持
3	本所地域プラザ管理運営費	地域活動推進課	64,063	2,746	66,809	現状維持
4	みどりコミュニティセンタ ー管理運営	地域活動推進課	55,602	2,746	58,348	現状維持
5	町会・自治会会館建設等補 助	地域活動推進課	10,500	3,662	14,162	現状維持
6	地域集会所管理運営	地域活動推進課	36,812	3,662	40,474	改善・見直しのうえ継続
7	コミュニティ事業補助費	地域活動推進課	29,036	915	29,951	改善・見直しのうえ継続
8	集会室管理運営	地域活動推進課	2,786	1,831	4,617	改善・見直しのうえ継続
9	墨田まちづくり公社事業補 助費	地域活動推進課	2,019	915	2,934	改善・見直しのうえ継続
10	すみだまつり・こどもまつ り経費	文化芸術振興課	29,533	14,712	44,245	現状維持
11	はたちのつどい経費	文化芸術振興課	5,833	8,563	14,396	現状維持

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	コミュニティ会館管理運営委託					
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5409			
目 的	地域住民のコミュニティの形成と発展及び教養と文化の向上並びに児童の健全な育成を図る。					
対 象 者	コミュニティ会館利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区コミュニティ会館条例 墨田区コミュニティ会館条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者：その他特記事項参照	
事業内容	○施設概要 地域集会室、図書室、遊戯室、音楽室、学童クラブ室等 ○施設の管理運営等 コミュニティ会館3館の管理運営を指定管理者が担うとともに、図書の購入などを区が実施する。					
経 過	開始年度	昭和57年度			終了予定	
	昭和57年5月 東駒形コミュニティ会館開設 昭和63年4月 梅若橋コミュニティ会館開設 平成 7年4月 横川コミュニティ会館開設 平成27年4月 横川コミュニティ会館、指定管理者制度を導入 平成28年4月 東駒形コミュニティ会館及び梅若橋コミュニティ会館、指定管理者制度を導入					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	【指定管理者】 横川コミュニティ会館：ソシオーク・テルウェル・東武ビルマネジメント共同企業体 東駒形コミュニティ会館：東駒形TRC賀川記念館グループ 梅若橋コミュニティ会館：梅若橋あすのすみだ					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		452,630	436,445	449,774	463,932	742,609	543,624
A. 決算額（令和7年度は見込み）		420,605	429,469	435,971	454,023	692,824	543,624
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		420,605	429,469	435,971	454,023	692,824	543,624
執行率（％）		92.92％	98.4％	96.93％	97.86％	93.3％	100％
B. 人コスト		4,411	4,398	5,725	9,363	10,985	
総事業費（A+B）		425,016	433,867	441,696	463,386	703,809	
予算書P（令和7年度）		113・114		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	411,925	委託料	417,046	委託料	497,320
需用費	19,933	工事請負費	247,412	需用費	20,636
工事請負費	14,266	需用費	19,975	工事請負費	17,678
負担金補助及び交付金	5,584	負担金補助及び交付金	5,980	負担金補助及び交付金	6,055
備品購入費	1,725	使用料及び賃借料	2,000	使用料及び賃借料	1,842
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		370,000	令和7年度	目標	370,000	370,000	370,000	370,000
				実績	360,447	365,099	375,690	349,095
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	370,000	370,000	370,000	370,000	370,000	370,000
		実績	272,338	331,353	333,768	338,019	346,269	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設の必要性の指標となるため						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	イベント・講座満足度4～5の方（5段階評価）の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		85	令和7年度	目標	85	85	85	85
				実績	83.3	84.1	72	71
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	85	85	85	85	85	85
		実績	64.5	66	64	66	71	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設利用者の満足度が高まることで、施設の運営が適切に行われているか確認できるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	施設の利用については、コロナ禍等から回復基調であり、引き続き教養・文化の発展及び児童の健全育成等に資する施設として必要である。

課題・問題点
教養・文化の発展や児童の健全育成等に関する施設であり、今後もその一助としての役割を担うべき施設であるが、各施設とも経年に伴う修繕を必要とする箇所がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	八広地域プラザ管理運営					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5408
目 的	協治（ガバナンス）を担う区民等の地域における交流及びコミュニティ活動の拠点とする。					
対 象 者	区民や様々な活動団体（八広地域プラザ利用者）					
根拠法令 関連計画	墨田区地域プラザ条例 墨田区地域プラザ条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2 指定管理者：一般社団法人吾嬬の里	
事業内容	○施設概要 多目的ホール、楽屋1・2、音楽スタジオ、調理室、大会議室、中会議室、工作室、相談室1・2、和室コーナー、親子コーナー、地域交流室、自習・図書コーナー、屋上庭園、コミュニティゾーン、体育館、トレーニング室、多目的運動場（テニスコートA・Bの2面、またはフットサル1面） ○指定管理者による施設の運営 モニタリング等において、施設が適切に運営されているか確認を行い、指定管理者への助言・指導等を行う。					
経 過	開始年度	平成25年度			終了予定	
	平成25年4月1日 本館・屋内運動場開館 平成25年7月1日 多目的運動場開館 平成25年4月1日～平成28年3月31日 指定管理者：アズビル株式会社 平成28年4月1日～平成31年3月31日 指定管理者：一般社団法人吾嬬の里 平成31年4月1日～令和4年3月31日 指定管理者：一般社団法人吾嬬の里 令和4年4月1日～令和7年3月31日 指定管理者：一般社団法人吾嬬の里					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		77,448	111,251	79,942	98,400	83,918	89,541
A. 決算額（令和7年度は見込み）		75,755	102,333	79,313	95,264	83,520	89,541
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		75,755	102,333	79,313	95,264	83,520	89,541
執行率（％）		97.81％	91.98％	99.21％	96.81％	99.53％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	3,662	
総事業費（A+B）		78,402	104,972	81,767	97,818	87,182	
予算書P（令和7年度）		116		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	66,818	委託料	70,805	委託料	76,845
使用料及び賃借料	10,373	使用料及び賃借料	12,695	使用料及び賃借料	12,696
補償補填及び賠償金	2,412	補償補填及び賠償金	21		
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	本館利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		64	令和7年度	目標	40	45	50	52
				実績	36.8	38.9	40.7	39.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	54	56	58	60	62	64
		実績	31.5	34.5	45.5	44.2	46.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者ニーズを数字として確認することができる。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	アンケートで「今後も利用する」と回答した人の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		95	令和7年度	目標	85.5	86	86.5	87
				実績	87.4	86.8	79.3	79.2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	87.5	95	95	95	95	95
		実績	94	80.8	90	89.5	88.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		継続利用者を増やすことにより、利用者の交流・活動拠点としての利用を促す必要があるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も、地域プラザが区民等の交流及びコミュニティ活動の拠点となるよう、効果的な施設運営を行っていく。

課題・問題点
・利用率向上を目指して指定管理者と事業を進めていく必要がある。 ・区民の利用ニーズにあった事業展開や利用者が固定しないような事業の工夫が必要である。 ・地域住民からなる法人による管理・運営であることから、施設の運営に当たり、助言・支援していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	本所地域プラザ管理運営費					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5408
目 的	協治（ガバナンス）を担う区民等の地域における交流及びコミュニティ活動の拠点とする。					
対 象 者	本所地域プラザ利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区地域プラザ条例 墨田区地域プラザ条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2 指定管理者：一般社団法人地域プラザBIGSHIP	
事業内容	○施設概要 会議室、小会議室、学び合い体験室、調理室、多目的ホール、スタジオ、和室、イベントスペースA・B、レクリエーションコーナー、カフェ、トレーニング室 ○指定管理者による施設の運営 モニタリング等において、施設が適切に運営されているか確認を行い、指定管理者への助言・指導等を行う。					
経 過	開始年度	平成25年度			終了予定	
	平成25年10月1日 開館 平成25年10月1日～平成29年3月31日 指定管理者：一般社団法人地域プラザBIGSHIP 平成29年4月1日～令和2年3月31日 指定管理者：一般社団法人地域プラザBIGSHIP 令和2年4月1日～令和5年3月31日 指定管理者：一般社団法人地域プラザBIGSHIP 令和5年4月1日～令和8年3月31日 指定管理者：一般社団法人地域プラザBIGSHIP					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		67,216	61,246	63,819	61,341	62,024	65,776
A. 決算額（令和7年度は見込み）		64,905	61,013	62,271	61,341	64,063	65,776
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		64,905	61,013	62,271	61,341	64,063	65,776
執行率（％）		96.56％	99.62％	97.57％	100％	103.29％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	2,746	
総事業費（A+B）		68,434	64,531	65,543	64,746	66,809	
予算書P（令和7年度）		116		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	61,341	委託料	64,046	委託料	65,776
		補償補填及び賠償金	18		
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		64	令和7年度	目標	50	55	58	62
				実績	57.2	60.6	60	57
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	62	62	64	64	64	64
		実績	35.6	45.9	55	55.6	53.7	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者ニーズを数字として確認することができる。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	アンケートで「今後も利用する」と回答した人の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		90	令和7年度	目標	60	64	68	72
				実績	54	82.7	88.9	84.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	76	79	82	85	88	90
		実績	90	86	87	75	88	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		継続利用者を増やすことにより、利用者の交流・活動拠点としての利用を促す必要があるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域プラザが区民等の交流及びコミュニティ活動の拠点となるよう、効果的な施設運営を行っていく。

課題・問題点
・区民以外の利用者が増加しているため、区民の利用ニーズにあった事業展開や利用者が固定しないような事業の工夫が必要である。 ・地域住民からなる法人による管理・運営であることから、施設の運営に当たり、区が助言・支援していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	みどりコミュニティセンター管理運営					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5409
目 的	施設や設備の計画的な維持管理により、地域住民の福祉の増進及び健康で文化的なコミュニティの形成と発展を図る。また、地域住民の活動の場として活用を図り、機会の向上を進めることにつなげる。					
対 象 者	みどりコミュニティセンター利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区みどりコミュニティセンター条例 墨田区みどりコミュニティセンター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、指定管理者:J&J共同事業体	
事業内容	○施設概要 集会室、会議室、和室、発声練習室、多目的ホール、スタジオ、トレーニング室等 ○施設の管理運営・維持管理 地域住民の活動の場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成7年度			終了予定	
	平成7年6月 みどりコミュニティセンター開設 平成18年4月 指定管理者制度導入 令和4年4月より現指定管理者（J&J共同事業体）による管理					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		62,209	53,315	62,162	112,318	57,907	472,326
A. 決算額（令和7年度は見込み）		53,802	50,960	60,138	102,551	55,602	472,326
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		53,802	50,960	60,138	102,551	55,602	472,326
執行率（％）		86.49％	95.58％	96.74％	91.3％	96.02％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	3,272	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		56,449	53,599	63,410	105,105	58,348	
予算書P（令和7年度）		114		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	56,897	委託料	55,578	工事請負費	406,913
工事請負費	45,100	補償補填及び賠償金	13	委託料	64,339
備品購入費	385	需用費	11	需用費	694
需用費	169			使用料及び賃借料	380
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	60	62.3	64.5	66.7
				実績	64.8	64.1	61	62.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	69	71.2	73.4	75.6	77.8	80
		実績	62.4	64.7	64.2	56.9	61	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	イベント・講座満足度4～5の方（5段階評価）の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	60	62.2	64.4	66.6
				実績	59.6	41.9	50	66
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68.8	71	73.2	75.5	77.7	80
		実績	39.5	53.9	—	46	49	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域住民の意見や要望にあった施設運営ができているかどうかの確認となるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民のニーズは高く、代替性は低いため、地域コミュニティの場として必要な施設である。

課題・問題点
区南部のコミュニティ施設の核として、利用者ニーズを取り入れた事業展開を図り、利用者満足度を高めていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	町会・自治会会館建設等補助					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5406
目 的	町会・自治会活動の拠点となる施設を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。					
対 象 者	町会・自治会（全170団体）					
根拠法令 関連計画	墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱 墨田区町会・自治会会館施設整備補助金交付要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	町会・自治会が設置する町会・自治会会館の建設等（新築、増築、改築、修繕、模様替え、建物・土地の購入、耐震診断費用、土地・建物の借地権設定に係る初期費用及び更新など）に要する経費の一部を補助金として交付している。					
経 過	開始年度	昭和57年度			終了予定	
	【建設等補助】 昭和57年4月 事業開始 平成15年1月 不燃化加算を廃止 平成17年10月 土地等価交換による会館取得の場合も対象に追加 平成21年4月 用地取得費も対象に追加 平成28年4月 耐震診断費用、借地権利金初期費用も対象に追加 令和2年4月 建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額 令和4年7月 補助対象に、土地又は建物の更新を含めた。 令和7年4月 各助成上限額を10%引き上げ増額 【施設整備補助】 平成4年7月 事業開始 平成11年7月 冷暖房機の購入費も対象に追加 平成29年3月 高齢者及び障害者等の利便を図る範囲内での備品の購入費も対象に追加 令和7年4月 助成金の上限額を10%引き上げ 防災備品の購入、蛍光灯からLEDへの交換に係る工事に要する経費が対象に追加					
議会質問 の 状 況	町会・自治会会館建設等補助金について、当区の補助金額は他区に比べて低いので、上限を上げて欲しい。（H31予特）⇒令和2年4月、建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額した。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		37,136	37,006	47,006	36,506	23,045	47,008
A. 決算額（令和7年度は見込み）		35,662	29,994	34,620	27,624	10,500	47,008
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		35,662	29,994	34,620	27,624	10,500	47,008
執行率（％）		96.03％	81.05％	73.65％	75.67％	45.56％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		37,426	31,753	37,892	31,029	14,162	
予算書P（令和7年度）		109		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	27,623	負担金補助及び交付金	10,498	負担金補助及び交付金	47,000
役務費	2	役務費	2	役務費	8
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		19	令和7年度	目標	19	19	19	19
				実績	13	12	9	21
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	19	19	19	19	19
		実績	19	22	19	16	11	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	町会・自治会加入世帯数率				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		65	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	64	—	—	—	—	65
		実績	65	64	63	61	59	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		コミュニティの核となる町会・自治会の世帯加入率が上がれば、地域コミュニティの安定化が進んでいることを確認できる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で大変重要であるため、今後とも事業を継続していく。

課題・問題点
町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、早急な修繕が必要となるケースもある。会館の建設等には莫大な金額がかかるため、その対策についても検討していく必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 5

補助金名	町会・自治会会館建設等補助金		
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5406
根拠法令	墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱		
補助概要	町会・自治会が設置する町会・自治会会館の建設等（新築、増築、改築、修繕、模様替え、建物・土地の購入等）に要する経費の一部を補助金として交付している。		
目的	町会・自治会活動の拠点となる施設を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。		
対象	町会・自治会（全170団体）		
基準	区独自基準		
補助条件	補助金額：建物の新築・購入及び土地の購入は上限1,100万円、その他修繕等は上限550万円（費用の2分の1補助、一団体の交付金額の上限は1,100万円、その他一度交付した金額は5年間申請不可など一定の制約あり） 交付対象会館 （１） 延べ面積（増築の場合は増築後の延べ面積）が原則として50平方メートル以上であること。 （２） 町会等において、自主的に管理運営されるものであること。 （３） 維持管理等に要する経費は、町会等で負担するものであること。 （４） 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。 等		
経過	開始年度	昭和57年度	終了予定
	昭和57年4月 事業開始 平成15年1月 不燃化加算を廃止 平成17年10月 土地等価交換による会館取得の場合も対象に追加 平成21年4月 用地取得費も対象に追加 平成28年4月 耐震診断費用、借地権利金初期費用も対象に追加 令和2年4月 建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額 令和4年7月 補助対象に、土地又は建物の更新を含めた。 令和7年4月 各助成上限額を10%引き上げ増額		
議会質問の状況	町会・自治会会館建設等補助金について、当区の補助金額は他区に比べて低いので、上限を上げて欲しい。（H31予特）⇒令和2年4月、建物新築・購入及び土地購入経費に対する助成上限額を500万円から1,000万円へ増額した。		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		32,018	32,003	42,003	32,003	18,042	42,004
A. 決算額（令和7年度は見込み）		30,545	26,196	30,496	24,804	8,490	42,004
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		30,545	26,196	30,496	24,804	8,490	42,004
執行率（％）		95.4％	81.85％	72.6％	77.51％	47.06％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		9	令和 7 年度	目標	9	9	9	9
				実績	5	5	3	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	9	9	9
		実績	8	11	10	8	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請に対する補助事業なので、事業規模を表す補助件数とし、事業規模に変更があった際にその増減を確認することができるため						
		指 標	補助延件数				単 位	件
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和 7 年度	目標	9	18	27	36
				実績	5	10	13	19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	54	63	72	81	90
		実績	27	38	48	56	61	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で大変重要であるため、今後とも事業を継続していく。

課題・問題点
町会・自治会会館において老朽化が進んでおり、早急な修繕が必要となるケースもある。会館の建設等には莫大な金額がかかるため、その対応についても検討していく必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 5

補助金名	町会・自治会会館福祉関連施設等整備補助金		
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5406
根拠法令	墨田区町会・自治会会館施設整備補助金交付要綱		
補助概要	高齢者や障がい者の利便を図るため、町会・自治会が設置する町会・自治会会館の施設整備に要する経費の一部を補助金として交付している。		
目的	町会・自治会活動の拠点となる施設について、高齢者や障害者でも利用しやすい環境を確保することにより、町会・自治会活動の活性化や良好なコミュニティの形成等を促進する。		
対象	町会・自治会（全170団体）		
基準	区独自基準		
補助条件	補助金額：費用の全額、上限55万円（一度交付した金額については、5年間は申請不可） 交付対象会館 (1) 町会等において、自主的に管理されるものであること。 (2) 集会等広く地域住民の利用に供されるものであること。		
経過	開始年度	平成4年度	終了予定
	平成4年7月	事業開始	
	平成11年7月	冷暖房機の購入費も対象に追加	
	平成29年3月	高齢者及び障害者等の利便を図る範囲内での備品の購入費も対象に追加	
	令和7年4月	助成金の上限額を10%引き上げ 防災備品の購入、蛍光灯からLEDへの交換に係る工事に要する経費が対象に追加	
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,118	5,003	5,003	4,503	5,003	5,004
A. 決算額（令和7年度は見込み）		5,117	3,798	4,124	2,820	2,009	5,004
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,117	3,798	4,124	2,820	2,009	5,004
執行率（％）		99.98％	75.91％	82.43％	62.62％	40.16％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和 7 年度	目標	10	10	10	10
				実績	8	7	6	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	11	11	9	8	6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請に対する補助事業なので、事業規模を表す補助件数とし、事業規模に変更があった際にその増減を確認できるようにした。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助延件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和 7 年度	目標	10	20	30	40
				実績	8	15	21	36
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	50	60	70	80	90	100
		実績	47	58	67	75	81	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		申請に対する補助事業なので予算の執行率では成果を判断できないため補助件数を指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	町会・自治会活動の拠点である町会会館の安定的維持のための本助成制度は、地域コミュニティの核としての町会・自治会の支援を図る上で大変重要であるため、今後とも事業を継続していく。

課題・問題点
本助成制度については、分かりやすい周知方法等を検討し、利用者にとって活用しやすい制度にしていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす		
事 業 名	地域集会所管理運営		
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5408
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。		
対 象 者	地域集会所利用者		
根拠法令 関連計画	墨田区地域集会所設置条例・墨田区地域集会所の管理運営に関する条例 墨田区地域集会所の管理運営に関する条例施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤2 指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社
事業内容	地域住民の健康で文化的なコミュニティの形成及び発展を図るため、地域住民の活動の場として地域集会所を設置している。 一般財団法人墨田まちづくり公社が指定管理者として19施設（東駒形・梅若橋・横川集会所を除く）を管理運営している。 立川・寺島・千歳・八広中央・曳舟・押上・東向島・八広一丁目・東墨田うめぞの・横川三丁目・江東橋一寺言間・業平三丁目・立花四丁目・京島第一・京島第二・なりひら神明橋・太平四丁目・東あずま公園集会所		
経 過	開始年度	昭和57年度	終了予定
	昭和57年 4月 上記条例及び規則施行 平成18年 4月 指定管理者制度導入 ・指定管理者：一般財団法人墨田まちづくり公社（非公募3年） ・業務委託者：一般財団法人墨田まちづくり公社（年間契約、東あずま公園集会所） 平成25年 4月 八広おおぎり及び八広はなみずき集会所廃止 平成25年10月 外手集会所廃止 平成28年 4月 墨田集会所廃止 平成29年 4月 西あずま集会所廃止 令和 3年 4月 東あずま公園集会所が指定管理者制度へ移行 学童クラブ事業での利用を開始		
議会質問 の 状 況	・貸出区分「午後」の二分割について →H31.4月から業平三丁目集会所で、R元.10月から寺島集会所で実施 ・地域集会所の利用料金について →R2.9月議会に改正条例を提案し、R3.4月より料金体系の見直しを実施 ・利用料金の減免制度について →R5.2月議会において、地域集会所の使用料の減免について報告、R5.4月より減免を実施		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		48,094	69,595	99,377	37,773	36,855	126,135
A. 決算額（令和7年度は見込み）		43,152	53,303	98,306	35,058	36,812	126,135
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		43,152	53,303	98,306	35,058	36,812	126,135
執行率（％）		89.72％	76.59％	98.92％	92.81％	99.88％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	4,907	4,256	3,662	
総事業費（A+B）		45,799	55,942	103,213	39,314	40,474	
予算書P（令和7年度）		114		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	33,217	委託料	35,234	工事請負費	81,748
工事請負費	1,121	負担金補助及び交付金	720	委託料	41,209
負担金補助及び交付金	720	使用料及び賃借料	615	使用料及び賃借料	2,458
		工事請負費	242	負担金補助及び交付金	720
概 要		概 要		概 要	
・ 指定管理料 ・ 内装工事		・ 指定管理料		・ 指定管理料 ・ 計画修繕工事 ・ 空調機更新工事	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		利用率	令和7年度	目標	30	30	30	30
				実績	21	23	24	21
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	9	9	15	26	26	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	64.6	68	71	77
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績	70	81	63	74	68	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域コミュニティ活動の拠点たる施設の設置目的に鑑みると、地域の利用者の満足度を高め、継続的に利用してもらうことが重要であるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	利用者の利便性と施設の稼働率の向上策を検討していく。

課題・問題点
・ 地域コミュニティ活動の拠点として利用されているが、利用件数・利用者数ともに施設の有効活用を図る必要がある。 ・ 現在、施設の管理は、地域の運営協議会と指定管理者である墨田まちづくり公社が協力して行っているが、今後の管理運営方法について検討を行っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	コミュニティ事業補助費					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5408
目 的	主に高齢者の地域コミュニティ形成に向けて、その機会を提供する。					
対 象 者	「コミュニティサロン」に参加するおおむね65歳以上の区民					
根拠法令 関連計画	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	平成28年3月に閉館した旧家庭センターのコミュニティ事業を、一般財団法人墨田まちづくり公社が引き継いで実施するに当たり、その経費を補助する。 コミュニティカレッジ（旧明治青年大学）、生きがい趣味の教室（旧生きがい趣味の教室）、コミュニティサロン（旧長寿室）、コミュニティサロン利用者の集い（旧長寿芸能の集い）の各事業を実施している。 なお、令和2年度をもって、コミュニティカレッジ及び生きがい趣味の教室を廃止した。					
経 過	開始年度	平成28年度			終了予定	
	・平成28年4月 事業開始 ・令和3年3月 コミュニティカレッジ事業及び生きがい趣味の教室事業の廃止 向島言問会館でのコミュニティサロン事業の廃止					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		30,655	37,507	32,730	34,774	40,093	35,064
A. 決算額（令和7年度は見込み）		16,426	22,561	26,934	30,684	29,036	35,064
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	11,457	8,392	8,643	9,033	8,753	8,958
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,969	14,169	18,291	21,651	20,283	26,106
執行率（％）		53.58％	60.15％	82.29％	88.24％	72.42％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	818	851	915	
総事業費（A+B）		19,073	25,200	27,752	31,535	29,951	
予算書P（令和7年度）		111		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	30,684	負担金補助及び交付金	29,036	負担金補助及び交付金	35,064
概 要		概 要		概 要	
一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		一般財団法人墨田まちづくり公社補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	コミュニティ事業参加者				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		26,000	令和7年度	目標	26,000	26,000	26,000	26,000
				実績	25,403	24,134	21,833	19,792
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
		実績	1,964	2,449	7,134	7,190	7,341	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	コミュニティ事業参加者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	64.7	70.3	71.2	60.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績	66.7	-	-	73	84.2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者の趣味を生かし生きがいを高める事業であるため、参加者の満足度は高いと思われる。 ※令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、アンケート実施を見送り						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	今後、事業の内容等の見直しをまちづくり公社と協議・調整していく。

課題・問題点
旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進んでいるため、事業内容等の見直しを含めて検討する必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 7

補助金名	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5 4 0 8
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱		
補助概要	墨田まちづくり公社コミュニティ事業費 旧家庭センターのコミュニティ事業を、一般財団法人墨田まちづくり公社が引き継いで実施するに当たり、その経費を補助する。		
目 的	主に高齢者の地域コミュニティ形成に向けて、その機会を提供する。		
対 象	一般財団法人墨田まちづくり公社が行う地域コミュニティの形成に資する事業に要する経費		
基 準	区独自基準		
補助条件			
経 過	開始年度	平成 2 8 年度	終了予定
	- 平成28年 4 月 事業開始 - 令和 3 年 3 月 コミュニティカレッジ事業及び生きがい趣味の教室事業の廃止 向島言問会館でのコミュニティサロン事業の廃止		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		30,655	37,507	32,730	34,774	40,093	35,064
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		16,426	22,561	26,934	30,684	29,034	35,064
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	11,457	8,392	8,643	9,033	8,753	8,958
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,969	14,169	18,291	21,651	20,281	26,106
執行率（％）		53.58 %	60.15 %	82.29 %	88.24 %	72.42 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	コミュニティ事業参加者				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		26,000	令和7年度	目標	26,000	26,000	26,000	26,000
				実績	25,403	24,134	21,833	19,792
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
		実績	1,964	2,449	7,134	7,190	7,341	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域の活動の場としての役割を達成しているかの確認となるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	コミュニティ事業参加者の満足度				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	64.7	70.3	71.2	60.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績	66.7	-	-	73	84.2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者の趣味を生かし生きがいを高める事業であるため、参加者の満足度は高いと思われる。 ※令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、アンケート実施を見送り						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	今後、事業の内容等の見直しをまちづくり公社と協議・調整していく。

課題・問題点
旧家庭センターの閉館に伴い区民から強い継続要望があった事業であるが、参加者の固定化と高齢化が進んでいるため、事業内容等の見直しを含めて検討する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	集会室管理運営					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5408
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。					
対 象 者	集会室利用者					
根拠法令 関連計画	墨田区集会室運営要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、一般財団法人墨田まちづくり公社	
事業内容	地域住民の福祉の増進のため、地域コミュニティ施設として地域集会室を設置し、長寿室・集会室として使用している。 京島会館、菊川分室、柳島集会室					
経 過	開始年度	昭和42年度			終了予定	
	昭和42年4月 墨田区地区会館条例及び同条例施行規則 施行 平成18年4月 指定管理者制度導入（向島言問会館） 令和3年3月 向島言問会館廃止（墨田区地区会館条例及び同条例施行規則廃止） 令和3年4月 墨田区集会室運営要綱制定 管理業務委託者：一般財団法人墨田まちづくり公社（年間契約、京島会館・柳島集会室・菊川分室）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,378	5,116	2,196	4,951	2,978	2,721
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,047	4,802	2,196	4,478	2,786	2,721
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,047	4,802	2,196	4,478	2,786	2,721
執行率（％）		92.44％	93.86％	100％	90.45％	93.55％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		6,694	7,441	3,832	6,180	4,617	
予算書P（令和7年度）		114		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	2,139	委託料	2,275	委託料	2,406
工事請負費	2,024	負担金補助及び交付金	315	負担金補助及び交付金	315
負担金補助及び交付金	315	備品購入費	196		
概 要		概 要		概 要	
・施設管理委託料 ・内装改修工事		・施設管理委託料		・施設管理委託料	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		17,000	令和7年度	目標	17,000	17,000	17,000	17,000
				実績	16,105	14,502	13,090	13,478
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
		実績	2,021	2,474	5,714	5,906	6,102	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		コミュニティサロン（長寿室）を中心に、区民が気軽に交流できる場を提供する。貸出し枠を設定していないため、稼働率の算出はしていない。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者の満足度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	70	72	73	74
				実績	65	68	71	58
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75	76	77	78	79	80
		実績	46	—	—	73	84	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域コミュニティ活動の拠点たる施設の設置目的を鑑みると、地域の利用者の満足度を高め、継続的に利用してもらうことが重要であるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	引き続き、利用者満足度の向上を図る策を検討していく。 ※令和3年度及び令和4年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、利用者アンケートの実施を見送ったため、成果指標の実績値は未測定

課題・問題点
利用者の固定化と高齢化が進んでいる。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす				
事 業 名	墨田まちづくり公社事業補助費				
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5408		
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。				
対 象 者	公社所有集会所利用者、公社所有町会会館利用者				
根拠法令 関連計画	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、一般財団法人墨田まちづくり公社
事業内容	一般財団法人墨田まちづくり公社が、公社所有集会所の管理運営と、公社所有町会会館の維持管理を実施するに当たり、その経費について補助金を交付する。 ・公社所有集会所（2施設） 吾妻橋会館、両国駅前会館 ・公社所有町会会館（9施設） 小梅二丁目会館、向島四丁目南会館、立花五丁目会館、緑三丁目会館、押上一丁目仲会館、亀沢一丁目会館、押上三丁目仲成会館、中川会館、東向島百花会館				
経 過	開始年度	昭和58年度		終了予定	
	・公社所有集会所（2施設） 吾妻橋会館（H1.12月）、両国駅前会館（S57.8月） ・公社所有町会会館（9施設） 小梅二丁目会館（S58.5月）、向島四丁目南会館（S59.9月）、立花五丁目会館（S63.2月） 緑三丁目会館（H1.10月）、押上一丁目仲会館（H2.2月）、亀沢一丁目会館（H2.10月） 押上三丁目仲成会館（H2.12月）、中川会館（H3.3月）、東向島百花会館（H4.4月）				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		6,665	6,597	6,579	7,599	8,776	8,744
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,401	1,509	3,921	1,642	2,019	8,744
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,401	1,509	3,921	1,642	2,019	8,744
執行率（％）		66.03％	22.87％	59.6％	21.61％	23.01％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	818	851	915	
総事業費（A+B）		7,048	4,148	4,739	2,493	2,934	
予算書P（令和7年度）		114		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	1,642	負担金補助及び交付金	2,019	負担金補助及び交付金	8,744
概 要		概 要		概 要	
一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		一般財団法人墨田まちづくり公社補助金	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	公社所有集会所の利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		27,000	令和7年度	目標	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	24,948	25,830	26,361	23,641
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,000	26,000	26,000	27,000	27,000	27,000
		実績	9,071	10,880	14,578	16,957	17,585	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公社所有集会所は立地条件等から利用人数の増加が期待できるため						
事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	公社所有町会会館の管理実績				単 位	館
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8	令和7年度	目標	12	12	11	11
				実績	12	11	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	9	9	8	8
		実績	10	10	10	9	9	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		町会・自治会の法人化を促進することで、墨田まちづくり公社から町会・自治会へと会館を返還していく。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	今後、管理運営体制の見直し・整理を図る。

課題・問題点
公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め返還していく必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 9

補助金名	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金		
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5 4 0 8
根拠法令	一般財団法人墨田まちづくり公社補助金交付要綱		
補助概要	一般財団法人墨田まちづくり公社が、公社所有集会所の管理運営と、公社所有町会会館の維持管理を実施するに当たり、その経費について補助金を交付する。		
目 的	地域コミュニティの活動を促進するため、区民が気軽に交流・活動できる場を確保する。		
対 象			
基 準	区独自基準		
補助条件			
経 過	開始年度	昭和 5 8 年度	終了予定
	・ 公社所有集会所 （2 施設） 吾妻橋会館（H1. 12月）、両国駅前会館（S57. 8月） ・ 公社所有町会会館（9 施設） 小梅二丁目会館（S58. 5月）、向島四丁目南会館（S59. 9月）、立花五丁目会館（S63. 2月） 緑三丁目会館（H1. 10月）、押上一丁目仲会館（H2. 2月）、亀沢一丁目会館（H2. 10月） 押上三丁目仲成会館（H2. 12月）、中川会館（H3. 3月）、東向島百花会館（H4. 4月）		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		6, 665	6, 597	6, 579	7, 599	8, 776	0
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		4, 401	1, 509	3, 921	1, 642	2, 019	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4, 401	1, 509	3, 921	1, 642	2, 019	0
執行率（％）		66. 03 ％	22. 87 ％	59. 6 ％	21. 61 ％	23. 01 ％	－ ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	公社所有集会所の利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		27,000	令和7年度	目標	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	24,948	25,830	26,361	23,641
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	26,000	26,000	26,000	27,000	27,000	27,000
		実績	9,071	10,880	14,578	16,957	17,585	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		公社所有集会所は交通至便な立地に加え、地域集会所よりも低廉な料金設定となっており、更なる利用人数の増加が期待できる。						
		指 標	公社所有町会会館の管理実績				単 位	館
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8	令和7年度	目標	12	12	11	11
				実績	12	11	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	9	9	8	8
		実績	10	10	10	9	9	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		町会・自治会の法人化を促進することで、墨田まちづくり公社から町会・自治会へと会館を返還していく。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	今後、管理運営体制の見直し・整理を図る。

課題・問題点
公社所有集会所は、地域集会所と同様に利用できる集会施設として区民のニーズが高い。 公社所有町会会館は、町会・自治会の安定した運営に寄与しているが、町会・自治会の法人化を進め、自立を図る必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす					
事 業 名	すみだまつり・こどもまつり経費					
主管課	文化芸術振興課				電話番号（内線）	5454
目 的	すみだまつりは、区民と行政が手を携え、企画・運営することにより、「ふるさとすみだ」の意識の高揚とともに地域の振興を図ることを目的とする。					
対 象 者	すみだまつり・こどもまつりを訪れる人					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員3人、会計年度任用職員2人	
事業内容	【すみだまつり】 1 ステージ（2会場・延べ55団体） 2 模擬店（15団体22コマ） 3 物産展（17市町村） 4 PRコーナー（44団体）（行政13・民間31） 5 その他（特別会場にて、大道芸・3M40周年事業を実施） 【こどもまつり】 1 こどもまつり式典（特別会場にて、実施） 2 こどもまつり行事（17団体） 「こどもあそびコーナー」、「わんぱく広場」 3 こどもまつりパレード（7チーム約400人）					
経 過	開始年度	昭和51年度			終了予定	
	「すみだまつり」は、昭和51年に「環境をよくする運動」の一環の「環境まつり」として実施。その後、各種団体が参画し「区民まつり」と名称を変えて行われた。昭和55年の第5回からは、地域の連帯と交歓の輪を広げるため「すみだまつり」と名称を変更し、「すみだまつり実行委員会」「墨田区」「墨田区文化観光協会（現：一般社団法人 墨田区観光協会）」の共催で実施している。 「こどもまつり」は、昭和46年に「交通安全こどもの日のつどい」の名称で開催。昭和52年の第7回に「こどもまつり」と名称変更。こどもたちの安全と健康で明るい成長を願うとともに、こどもたちの友情・連帯の輪を広げ、コミュニケーションを図ることを目的とする。平成13年度から、すみだまつりと同時開催となる。					
議会質問 の 状 況	令和6年 決算特別委員会 出店料4万円を徴収しているが、出店数としては何団体ぐらいが最適と考えているか。 （答弁）：何団体が最適という明確な基準はない。全体としてスペースに限りがあり、PRを望む団体数も一定数あることから、多過ぎるとキャパシティの問題が出る。逆に、少な過ぎると来客が減って全体が寂しい状態になる。こういった点では令和6年度の42団体は、バランスが良かったと認識している。スペースには多少の余裕があるため、今年の水準を確保した上で、キャパシティの中でプラスアルファが望まれると考えている。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,533	1,033	27,533	29,533	29,533	32,533
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,379	728	27,519	29,521	29,533	32,533
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,379	728	27,519	29,521	29,533	32,533
執行率（％）		93.92％	70.47％	99.95％	99.96％	100％	100％
B. 人コスト		15,698	14,030	13,119	13,727	14,712	
総事業費（A+B）		18,077	14,758	40,638	43,248	44,245	
予算書P（令和7年度）		P119 2-1		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	29,500	負担金補助及び交付金	29,500	負担金補助及び交付金	32,500
旅費	21	旅費	28	旅費	28
				報償費	5
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年一回の開催				単位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和７年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	-	-	1	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	万人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		なし		目標	なし	30	30	30
				実績	29	28	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	-	-	18	28	27	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。しかし、来場者数は天気に左右される等もあるため、一定の来場者数（３０万人）を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。

課題・問題点
1 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。 2 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 10

補助金名	すみだまつり実行委員会補助金		
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5454
根拠法令	すみだまつり実行委員会補助金交付要綱		
補助概要	1 各ステージ 2 模擬店 3 物産展 4 PRコーナー 5 こどもまつり行事 6 こどもまつりパレード		
目的	補助金を交付することにより、区民エネルギーの集約された全区民的まつりを通じ、区と民間との協働による「ふるさと墨田」のまちづくり意識の高揚と地域の振興を図る。		
対象	すみだまつり実行委員会		
基準	区独自基準		
補助条件	補助金の算定基準 1 出演料及び謝礼金 2 会場設営費 3 使用料 4 会議費 5 印刷宣伝費 6 区長が必要と認める事業の経費 の一部を予算の範囲内において補助。		
経過	開始年度	昭和58年度	終了予定
	開催条件や周年事業の実施等の状況を踏まえて、毎年、予算額の見直しを行っており、平成22年度には新墨田区総合体育館及び整備中の錦糸公園での実施となったことから、養生費やメンテナンス経費等が増額された。その後、錦糸公園整備の進捗等に合わせた経費の見直しを行い、平成24年度及び平成25年度は減額となった。令和5年度は、急激な物価上昇やコロナの影響による協賛企業の減少の影響で増額されている。		
議会質問の状況	令和6年 決算特別委員会 出店料4万円を徴収しているが、出店数としては何団体ぐらいが最適と考えているか。 （答弁）：何団体が最適という明確な基準はない。全体としてスペースに限りがあり、PRを望む団体数も一定数あることから、多過ぎるとキャパシティの問題が出る。逆に、少な過ぎると来客が減って全体が寂しい状態になる。こういった点では令和6年度の42団体は、バランスが良かったと認識している。スペースには多少の余裕があるため、今年の水準を確保した上で、キャパシティの中でプラスアルファが望まれると考えている。		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,500	1,000	27,500	29,500	29,500	32,500
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,378	728	27,500	29,500	29,500	32,500
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,378	728	27,500	29,500	29,500	32,500
執行率（％）		95.12％	72.8％	100％	100％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年一回の開催				単 位	回数
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和 7 年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	-	-	1	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		広く区民に親しまれている「すみだまつり・こどもまつり」を安心・安全に実施し、今後も継続していく。						
		指 標	来場者数				単 位	万人
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		なし		目標	なし	30	30	30
				実績	29	28	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	-	-	18	28	27	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来場者数に応じ、「すみだまつり・こどもまつり」の浸透度が確認できる。しかし、来場者数は天気に左右される等もあるため、一定の来場者数（30万人）を目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	更なる経費節減と協賛金の獲得増に努めるとともに、新たな企画の検討・内容の見直しを行い、より魅力のある事業としていく。

課題・問題点
1 墨田区内の企業等は、依然として厳しい経営環境が続いており、新たな協賛収入の確保が難しい状況にある。 2 実行委員が高齢化しており、新規の実行委員を開拓する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	512 地域や多様なコミュニティを育む場や機会を増やす		
事 業 名	はたちのつどい経費		
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5454
目 的	はたちを迎える方の今後の活躍を願い、社会の一員としての自覚と責任を促すとともに、これを祝い励ます。また、大人の仲間入りをともに喜び合える場を提供する。		
対 象 者	平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた墨田区民（外国人住民含む）		
根拠法令 関連計画			
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤職員3人、会計年度任用職員1人
事業内容	“はたちを迎える方、自らの手による式を実施すること”を目的として「実行委員会」を立ち上げ、実行委員がテーマ策定、記念品選定、アトラクションの企画及び当日の運営までを行っている。 1 会 場 すみだトリフォニーホール 大ホール（墨田区錦糸一丁目2番3号） 2 記念品 墨田区地場産業製品 3 当日プログラム （1）事前アトラクション （2）開会のことば・励ましのことば・お祝いのことば （3）メインアトラクション （4）記念コンサート （5）閉会のことば		
経 過	開始年度	昭和30年度	終了予定
	昭和24年 成人の日制定 昭和31年 墨田区において、第1回「成人はたちのつどい」開催 平成10年頃から新成人による歓談会開催 平成13年度から新成人の実行委員による企画・運営する実行委員会方式を採用 令和4年度から名称を「成人を祝うつどい」から「はたちのつどい」に変更		
議会質問 の 状 況	（令和6年10月決算特別委員会） すみだトリフォニーホールの大規模修繕工事に伴い、影響を受ける年とほかに考えられる会場はどこか。 （答弁）：令和10年、令和11年の年初に行う予定のはたちのつどいであり、会場は探索していく。 （令和2年11月決算特別委員会） 私立中学校へ進学した人たちは、式典に参加しにくい状況ではないか。 （答弁）：区公式HPや、区SNSなどで、私立中学校卒業者も積極的に参加を促す対応を行う。		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		7,189	6,164	5,697	5,995	6,016	6,764
A. 決算額（令和7年度は見込み）		7,048	5,947	5,466	5,705	5,833	6,764
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		7,048	5,947	5,466	5,705	5,833	6,764
執行率（％）		98.04％	96.48％	95.95％	95.16％	96.96％	100％
B. 人コスト		8,204	8,195	7,643	7,971	8,563	
総事業費（A+B）		15,252	14,142	13,109	13,676	14,396	
予算書P（令和7年度）		P119 2-2		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	2,780	委託料	2,835	委託料	3,238
需用費	2,087	需用費	2,148	需用費	2,616
使用料及び賃借料	695	使用料及び賃借料	706	使用料及び賃借料	712
役務費	141	役務費	141	役務費	188
旅費	2	旅費	3	旅費	10
概 要		概 要		概 要	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	式典参加人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,200	令和7年度	目標	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績	1,171	1,174	1,297	1,343
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		実績	-	1,255	1,251	1,282	1,253	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		式典参加人数に応じ 式典がはたちを迎える方にとって共感できる内容であったかどうかを確認できるため。						
事業の 成果	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	式典参加率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		65	令和7年度	目標	60	61	61	62
				実績	56	55	61	63
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	62	63	63	64	64	65
		実績	-	63	60	61	60	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		式典参加率が、はたちとしての自覚を持っているかの指標となるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業の成否は実行委員の力量によるところも大きいので、実行委員の人材確保に努め、より魅力的な事業としていく。

課題・問題点
1 はたちのつどい実行委員を毎年安定的に確保するのが難しい。 一例年と同様、青少年委員の方に推薦を依頼するほかに、令和3年度から区内区立の各中学校に直接依頼をする。 また、実行委員経験者に後輩への声かけを依頼する。 2 式典参加者を増加させるなど事業の充実のため、工夫を図る必要がある。